

## 江津地域の今後の県立高校の在り方について

### 1 これまでの経緯

6月議会	「基本的な方針（案）」を説明
6月30日	江津市説明（市長・副市長・教育長）
7月5日	江津高校関係者説明会
11日	江津工業高校関係者説明会
15日	地域説明会
20日	教育委員会会議
8月9日	島根県総合教育審議会への諮問・意見聴取
上旬	産業界（商工会議所・商工会）からの意見聴取
23日	教育委員会会議

#### <参考>基本的な方針（案）

- ・ 江津地域の子どもたちの進路の選択肢の確保と、教育活動の充実を最優先に考え検討
- ・ 1学年2学級の江津高校と江津工業高校を統合し、新たに1学年3学級の高校を設置
- ・ 江津高校が築いてきた地域連携による進学を念頭においた学びを継承
- ・ 江津工業高校の伝統を生かすとともに、県西部の工業教育へのニーズに対応できるよう、工業教育の更なる魅力化を検討
- ・ 工業教育の実習施設・設備が必要であることから、新設校は江津工業高校の場所を念頭
- ・ 開校する時期は、教育課程の検討と、それを踏まえた施設整備のため、令和10年度前後を想定

## 2 説明会等における主な質疑・意見等

### (1) 第1回島根県総合教育審議会

- ・ 8月9日（水）
- ・ 主な意見
  - 「統合で魅力が薄れる可能性がある。新たな魅力を加えて県内で1番をめざしていくくらいの意識が必要」
  - 「地域と一体となった学びの成果が出つつある中での統合検討に地域が戸惑いを感じている」
  - 「統合によって学校規模が維持されることで部活動の選択肢が広がる」
  - 「小規模校を維持することによるメリットもある」

### (2) 産業界からの意見

- ・ 3商工会議所（浜田商工会議所、大田商工会議所、江津商工会議所）
- ・ 6商工会（銀の道商工会、川本町商工会、美郷町商工会、邑南町商工会、桜江町商工会、石中央商工会）
- ・ 主な意見
  - 「工業教育の専門性は絶対に必要である」
  - 「地元地域から高校生が流出しないような魅力的な新設校ができるのでなければ統合の意味がない」
  - 「地元の中学生在が地元の高校に進学し地元就職する、その流れが大事」
  - 「建築・土木の資格を持った人材が必要」
  - 「江津工業の専門性と江津高校の地域と連携した学びが維持されることが統合の大前提」
  - 「ポリテクカレッジや島根県立大学と連携して地元地域に定着する取り組みが必要」
  - 「普通科系において理系の学びが必要」
  - 「普通科系の生徒がものづくりに興味を持つことができるような学びに期待」

## 3 今後のスケジュール

9月13日（水） 第2回島根県総合教育審議会  
地域関係者（4名）から意見聴取予定